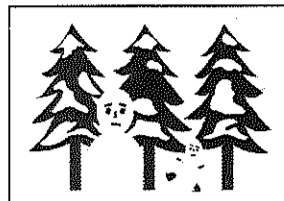


2月例会の報告

2月20日の例会では、初めにボウリング大会中止を振り返り、次に緊急アンケートの進行状況について、最後に隔月企画として、NPO法人パオの会、宮地氏・百瀬氏から移行後の状況報告がありました。



2月15日に予定していたボウリング大会は、事前に雪の影響を想定し、前々日から運委員の間で、市の防災課から送られる積雪注意情報などを参考に、情報の共有と意見交換を行っていました。結果、前日に中止の発表となりましたが、振り返ると中止の判断は正しかったとの意見が多くありました。並びに、各団体の参加者が楽しみにしていた事や、初めての試みとして「職員はアイマスクでのプレイ」という特別企画が流れたこともあり、中止を惜しむ声も同様に多く出ていました。

次に、2月中旬に各団体の代表者宛てにメール等でお願した『八障連の今後に向けてのアンケート』の回答状況として、すでに数団体から回答があり、「ニーズとしては、八王子市内の他の団体との横の繋がりを重視する面が、これまで同様強い傾向を示している」との報告がありました。運営委員からは、「町内会的な意味合いを意識させられる事もある」との意見も挙がっていました。

最後に、移行後の状況報告では、パオの会をよく知る者も多かった事から、和やかな雰囲気意見交換が行われ、移行先として就労系ではなく地域活動支援センターへの移行の姿勢を崩さなかった経過と、それに伴う金銭的な工夫などについて説明がありました。移行問題に関しては、以前から存亡の危機が訴えられ、八障連としても対市交渉の場で継続して取り上げてきた経過もあり、参加者それぞれに、なんとか現状維持が保たれている事を知り、安堵で胸をなでおろす思いがありました。(川出)

【地活Ⅲ型でとりあえず1年続けられました】

地域活動支援センターパオ 施設長 宮地節子

ふりかえれば、障害者自立支援法のグランドデザインが発表された当初から、パオは生き残れないかもしれないという危機感をずっと抱いていました。アートをはじめ、ピアサポートや相談・情報提供などを活動の中心としてきたパオにとって、訓練給付型の運営はとても不可能であると思っていました。そのため何年もずっと、地域活動支援センターとしての移行を要望してきました。他の団体はどんどん訓練給付型への移行を決めていく中で、非常に心細い日々でした。



パオはなくなってしまうのではないかと、私たちもメンバーも不安であり、八障連のみなさんにも大変なご心配をおかけしました。

現状を報告しますと、2013年4月より、地域活動支援センターⅢ型として生き延びることができています。昨年度末、それも2月末あたりの、本当にぎりぎりのところで、予算が獲得できた旨、障害者福祉課の方から連絡がありました。ちょうど1年前のことです。特定非営利活動法人八王子パオの会という法人格がとれたのも、2月の初めでした。地活の基本補助と、機能充実事業加算(東京都)を合わせて、前年度の約4分の3の補助ということになりました。大屋さんには何年も前から事情を話し、その節は家賃を大幅に下げてもらうことをお願いしていたので、新家賃での再契約。また職員の給料、賃金も、全員4分の3にベースダウンしての予算編成を行いました。給料のことは、パオは小規模な団体で職員も4人しかいないので合意もとりやすく、むしろもっと下がることも覚悟して、いくつかのパター

ンを考えていたのです。全体的にスリムになった形ですが、ほとんど以前と同じ活動を継続することができて本当によかったと思っています。

マイナスの変化としては、予算の縮小に伴うことですが、家賃補助・交通費助成がなくなり、旅行などの行事もなくなりました。給料カットのため、そのかわりとして、スタッフが有休・公休をとるようにしているので、以前より若干スタッフ体制が手薄になっていることがあります。(※ 交通費は、現在パオの自己資金からメンバーに出しています)

でもプラスの変化もありました。他の事業所や制度などとの併用が認められるようになったため、活動性の高いメンバーは、パオ以外の活動にチャレンジしやすくなりました。現在約30名のメンバーが登録していますが、そのうち3分の1は他のB型・社適・造形教室など、パオ以外の活動の場を持っています。

また3障害の垣根を越えて、もとは知的身障の作業所だったB型事業所に通っている人も何人かいます。そんなことは今までなかったことです。特別こちらから勧めることはないのですが、それぞれに合った場所を上手に探し出して、メンバーの生活は自然発生的に広がっているように思います。また、お金のかかる行事が出来なくなった分、夕食会・昼食会が定例化され、メンバーにはとても評判がいいです。

都の加算がいつまで続くのだろうかとか、中核市に変わったとき変化はあるのだろうか、というような不安要素はありますが、とりあえずは活動を継続することが出来ることになったので、新しいメンバーも徐々に増えています。

2月初めには、10回目となるパオ作品展を無事開催することが出来て喜びをかみしめたところです。長い間の、ご心配と応援をありがとうございました。



前々回1月の事務局通信でもお伝えしたように、現在八障連の運営委員会では来年度以降の方向性について検討を進めております。その基礎資料とするために2月中旬から後半にかけて緊急のアンケートを実施しました。お蔭を持ちまして、6割から7割の会員団体より回答を頂きました。改めてお礼を申し上げます。

現在3月20日の例会へ向けて集計を行っておりますが、その中で目立ったことは、八障連の捉え方の問いで、情報媒体の一つとだけ答えた団体と、運動の軸あるいは交流の場と答えた団体に、大きく2分され、保険的な意味合いと答えた団体はありませんでした。さらに、前者を選んだ多くの団体が、例会やイベントにもほとんど出席していない団体でもありました。そのことの考察はここでは避けませんが、皆さんはどうお考えになりますでしょうか？

今後の予定としては、次回3月20日の例会で、今回のアンケートの結果を基に、来年度以降の事業展開と方向性について意見交換を行い、翌週27日の運営委員会において来年度事業計画の検討を行い、5月31日に予定している年度総会へ向けて煮詰めていくこととしております。各団体年度末を迎えお忙しい時期とは思いますが、八障連の今後を考える大切な例会となります。改めて、3月20日の例会への参加をお願い致します。(多田)

連載コラム 『ワンちゃんと一緒に』 vol.2 八王子視覚障害者福祉協会 鈴木由紀子

II. 盲導犬がやってきた

補助犬(目の見えない私の場合には盲導犬)の給付事業は東京都の所管ですが、八王子市役所で申請書類一式を取り寄せてくれました。すると、まずは家族の了解、そして、いま私が住んでいるマンションの人たちにも同意書をもらうように指示されていました。

家族と言っても夫だけでしたが、夫は私が犬好きなこと、そして盲導犬に興味を持っていることを以前から理解していました。しかし、盲導犬として使われる犬は20キロ以上もある大型犬。大きな犬を室内で飼うということに、少し抵抗があると言いました。でも、とにかく安全に歩きたいという私の思いを理解して、4週間にもわたる長い共同訓練に私が出かけることを了解してくれました。

次の課題は、私が住んでいるマンションの人たちの同意を得ることでした。このマンションには、区分所有者で構成される管理組合、いわば自治会のような組織があり、盲導犬を持ちたいという私の思いも、常設の理事会宛てに申し入れれば適切に処理してくれることになっています。マンションの管理組合規約上、ペットは飼えないのですが、身障者の補助犬は別扱いです。実は、20数年前に我が家がここに入居するとき、私はいずれ盲導犬を持つかもしれないと申し添えてあり、そのことを皆さんが覚えていてくれたこと、また補助犬法の効力もあり、理事にお話をしてから1週間で同意書にサインしてくれました。

2010年の4月末、八王子市を通して東京都に申請書類を出し、それから5カ月後の9月下旬から4週間、盲導犬のユーザーになるための訓練を受けることができました。

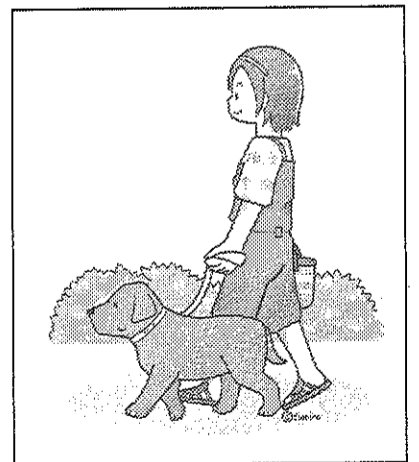
訓練の最初のほうでは、静かな歩道で盲導犬と歩くノウハウを学び、後半になると、商店街で作業中のトラックを避けて歩く、踏切も通る等、日常生活で遭遇する全てのことが実習できるように、プログラムが組まれています。

訓練ではさらに、犬のブラッシングやシャンプーのし方、うんちの取り方など、盲導犬の世話のノウハウも全部教えてくれます。そこにいる間に、できる限りの知識やノウハウを伝えてくださるようとする訓練士たちの熱い思いが、私たちにもよく伝わってきました。

そして10月下旬「アーサを連れて帰っていいですよ」というS理事長の「言い渡し」の儀式を経て、私たちが正式な盲導犬とそのユーザーと認められて、八王子の我が家に帰ってきました。

実際に盲導犬を迎えて、管理組合ではいくつかの配慮をしてくれました。まず、エレベーターなどで大型犬と急に出会ったときに小さい子どもが驚かないように、私が盲導犬を使って行動していること、さらに、仕事中の盲導犬を邪魔したりしてはいけないというマナーを館内に掲示してくれました。最初のうちは「うわあー、犬だ！」と子どもに驚かれたこともありましたが、しばらく一緒に過ごすうちに、盲導犬がいることも当たり前のことと思ってもらえるようになりました。

管理組合が最初からこのようにしっかりフォローして下さったお蔭で、私は建物の中を自由に歩き回れますし、総会や夏の夕涼み会、さらに地域ぐるみの防災行事などにもアーサと参加して、皆さんとつながりを持つことができています。3年間でアーサと歩調を合わせて歩くことにも慣れましたし、意思疎通も結構うまくいくなりました。さて、これからアーサと一緒にまちに出て、何か素敵なことを探しましょう。



今後のスケジュール

3月20日(木)	例会	18時～20時	クリエイトホール
3月27日(木)	運営委員会	18時～20時	クリエイトホール
4月17日(火)	例会	18時～20時	クリエイトホール
5月31日(木) 予定	年度総会	13時～15時	労政会館 (予定)